



第4学年国語科

単元名 よりよい話し合いの仕方を考えよう

【単元において育成を目指す資質・能力】

- 自分の考えと、それを支える理由や事例を関連付ける力
- 互いの考えの共通点や相違点に着目して考えをまとめる力

【導入】前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。

今まで確認してきた
「関連付ける、共通
点・相違点、理由を付
ける」を意識して話し
合おう。



課題設定の工夫

これまでの課題や前回の学級会の
様子を振り返り本時のめあてを設定
する。

めあて

よりよい話し合いの仕方について考えよう。

【展開】「教室でお楽しみ会をしよう」という議題で話し合う。

まずグループ
で話し合おう。

自分の考えをもつための工夫

そして学級全体で話し合おう。



話し合いが得意な児童、苦手な児童が混ざるグループを編成し、意見交換タイムを設けて一人一回は自分の意見を話すことができるようにする。

互いの考えの共通点や相違点を整理しやすいように短冊を活用する。

自分の考えを表現するための工夫

ワークシートに自分の考えを事前に書いておき、一人で考えるときは付箋に自分の考えを書く。

付箋を基に4人グループで話し合わせ、グループの考えを全体で発表するときは、まとまったことを短冊に書かせる。それを全体で共有し、解決策を話し合わせる。

【終末】本時の振り返りをする。

○成果と●課題

- クラスで話し合うことを通して、話し合ういろいろな友達の意見が分かったり意見がまとまったりして楽しかったという経験をさせることができた。
- 相手の意見に関連付けて話そうとしたり、共通点や相違点を見付けながら話し合ったりして、よりよい話し合い方を自分たちで意識して取り組む姿が見られた。
- 理由を付けて意見を発言すると説得力があり、話し合いがまとまっていくことに気が付き、一人一人が理由を付けて発言することができた。
- 司会や提案者等の役割を果たしながら話し合うことができるようになってきた。
- グループでは、よりよい話し合い方を意識してできるようになってきたが、学級全体としては課題があるので、それらを意識させて話し合いができるようにする。

